

海風

UMIKAZE



Chiba-Minato Rehabilitation Hospital Report



Contents

- 2P 院内案内
- 3P 入院患者様統計データ
- 4.5P みなと日記
- 6P リハビリテーション療法の紹介、行事食
- 7P 山田達夫の健康コラム

9月19日(金) オータムコンサート

9月19日に開院後初めてのコンサートを開催致しました。
演奏はボーカルとピアノからなるポップユニット・PESO (ペソ) のお2人が、おしゃやかなピアノと優しい歌声を披露していただきました。小一時間程のコンサートでしたが、参加された患者様も大変喜ばれ、素敵な時間を過ごすことができました。

院内案内



当院は脳卒中や骨折などにより身体機能の低下した患者様を急性期病院から引き継ぎ、発症後早期からの集中的なリハビリテーションを提供させて頂いています。

各職種による徹底したチームアプローチを通じて、再び住み慣れた地域や自宅で生活頂くために、質の高いリハビリテーションサービスを提供することに全力を尽くしております。

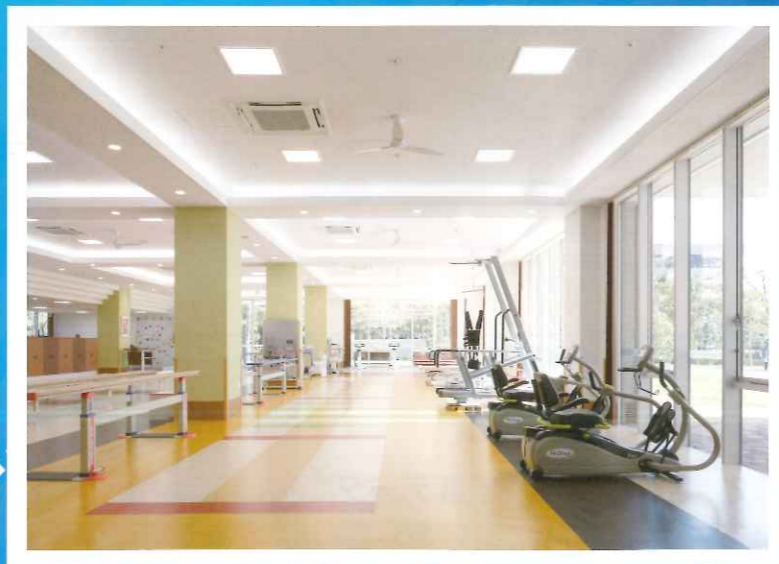


病室は、ご自宅のようにくつろいでいただける快適な療養環境を提供しております。「心身ともに最良の状態でのリハビリテーションを行って頂きたい」という思いから、患者様・ご家族様と相談させて頂きながら環境を整えさせて頂きます。

当院では、主体的かつアクティブなプログラムを実施するために、ボルダリング、キネシス、各種トレーニングマシンなど、各疾患に対応した適切なリハビリ訓練を実施できる設備が充実しています。

更に、ご家庭の環境により近づけた訓練を行えるシミュレーションルーム、家庭菜園などの趣味活動を訓練として使用できるリハビリガーデンを完備しております。

それぞれの専門職種が一丸となって質の高いリハビリテーションを提供いたします。

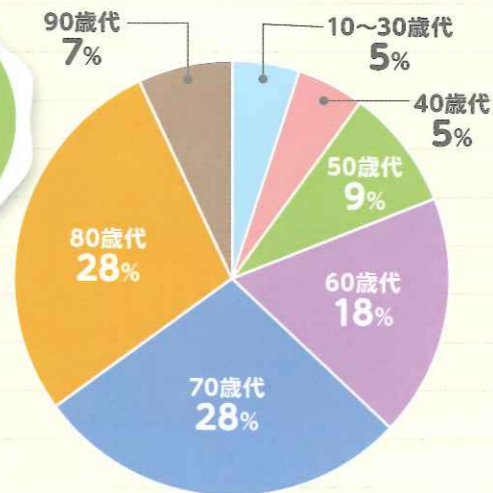


入院患者様統計データ

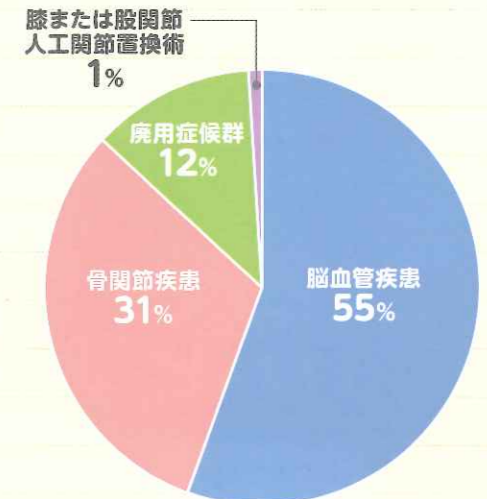
平成26年4月～10月 患者数321名(再入院除く)

入院患者様年代別

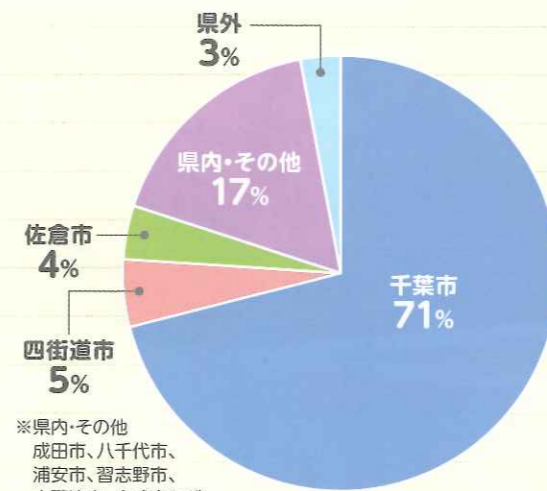
平均年齢
71.3歳



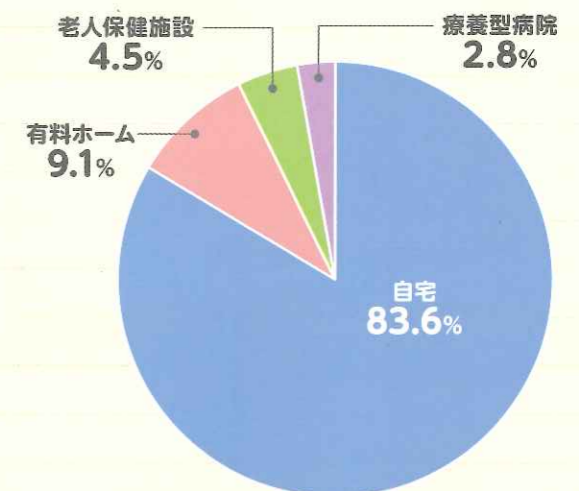
入院患者様疾患別割合



入院患者様居住地域別



入院患者様退院先



患者様1人あたりリハビリ提供数	平均入院日数	新規入院患者様の重症度割合	重症患者様改善率
8.67単位	84.5日	40.2%	83.7%

※1単位=20分

日常生活自立度(FIM)	入院時平均	退院時平均	利得平均(回復度)
	69.9	94.7	24.8

在宅復帰率
92.7%

※急性期への転院除く



7月11日(金)

カマチグループ関東地区 リハビリテーション懇親会

平成26年7月11日、カマチグループ関東地区懇親会が帝国ホテルにて行われました。

毎年恒例の懇親会で、今年は関東のグループ病院、関連施設、および、来賓の方々を含め、1,349名の参加となりました。関連病院のスタッフをはじめ、様々な職種の方々と交流を図ることができました。今後も各病院の良いところを学び、当院でもグループの先輩病院と同じように最良の医療を提供してまいります。



医療安全院内研修

8月22日(金)

講師にパラマウントベッド社の岡本卓也氏をお招きし、患者さんの転倒転落とその対策についてご講演いただきました。転倒・転落事故の現状と、その事故の対策について説明いただき、改めて、KYT(危険予知トレーニング)や5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)が重要であると説明いただきました。



関東蒲池グループ 第4回同学術研究大会

9月27日(土)

当院から看護部とリハビリテーション科より各2演題ずつ発表を行いました。入賞には選ばれませんでした。研究の成果を十分に発揮できたと思います。各関連施設の発表を聞き勉強になり、今後の運営や医療の質向上に活かしていきたいです。



美化活動

10月7日(火)

お昼休みの10分間を使い、院内・院外の草取りやゴミ収集等の美化活動を行いました。院長はじめ、有志で各部署から参加し院内・院外が綺麗になりました。これから月1ペースですが美化活動を行い、病院を綺麗に保ってまいります。



ハロウィン

10月31日(金)

ハロウィンにちなんで仮装と各病棟でイベントを行いました。院長の仮面姿もあり、患者様もスタッフにとっても楽しいひとときになりました。面会に来院されたご家族様と写真に納まる一面もあり、普段とは違う雰囲気であふれた一日でした。



リハビリテーション療法の紹介

~vol.2~



IVES (アイビス)



IVES(随意運動介助型電気刺激)は、手指などの麻痺した筋肉の微弱な筋電信号を電極で感知し、最も適した電気刺激を麻痺した筋肉に与え、筋肉の動きを改善させることを目指した携帯型の電気刺激装置です。

超音波治療器 UST-770



超音波が生体組織に照射される際に生じる熱で、温熱作用を発生させ、超音波が到達している範囲を立体的に温めることができます。疼痛の緩解、微小マッサージ作用、筋肉痛及び関節痛の軽減、鎮痛及び筋萎縮改善に効果があります。

行事食



ハロウィン

10月31日ハロウィンをイメージした食事を提供いたしました。

食器を変えてワンプレートに仕上げ、また、ハロウィンに因んで南瓜プリンを作りました。

秋分の日

当院では、月に1回季節感を患者様に味わっていただくよう行事食をしています。

今後も患者様のご意見を取り入れながら、喜んでいただける食事の提供に努めていきます。



MENU

ハロウィン

チキンライス、ジェノベーゼの Pasta、コロッケ、ハンバーグ、グリーンサラダ、コンソメスープ、南瓜プリン

秋分の日

巻き寿司・稲荷ずし、八幡巻き、茶碗蒸し、お浸し

第7回

山田 達夫の健康コラム



一般社団法人 巨樹の会 関東統括特別顧問
山田 達夫
一般社団法人 巨樹の会 関東統括特別顧問
神経内科認定医
昭和23年生まれ 山梨県出身
昭和49年：東京医科歯科大学医学部卒業
平成 9年：福岡大学医学部神経内科学教室 教授
平成23年：一般社団法人 巨樹の会 関東統括本部長に就任
平成26年：関東統括特別顧問に就任

認知症を呈する入院患者の背景疾患の頻度分析

Alzheimer病が最も多く(7-8割)、高頻度に認めるのは整形疾患群にである

認知症を呈する疾患は細かな病名に従って数えると100も200もあります。実際にはそのほとんどがAlzheimer病(AD)であります。日本では脳血管性が一番多いといわれた時代はすでに過去のことです。今回以下のような調査を赤羽リハビリテーション病院職員の皆様のご協力を得て行い、注目すべき結果が得られましたのでご報告いたします。

2013年10月から12月までに赤羽リハビリテーション病院に入院した患者さんのうちMMSEが23点以下の方を対象に、神経学的診察、心理検査と頭部CT scanを実施し、認知症あるいはMild Cognitive Impairment (MCI)かを診断しました。また、その背景疾患の頻度分析を行いました。

MCIとは正常加齢と認知症の中間的認知障害を示し、基本的になんとか自立した生活ができる状態で、Clinical Dementia Rating (CDR) 0.5が適用される方たちです。一方認知症とは多種の認知機能が低下し、人様の世話にならなくなった状態を指します。従って問診や検査で記憶のみの障害の場合はMCIと診断されます(正確には健忘性MCI)。

調査では、新入院患者さんの中からランダムに54名を選択して解析しました。そのうち認知症あるいはMCIと診断された患者数合計は44名(37名が認知症で、7名がMCI)でありました。他の10名は失語症4名、意識障害3名、注意障害2名とうつ病が1名でありました。

認知症と診断されました37名は、整形外科疾患群が14名、脳血管障害群14名と廃用性疾患群が5名でありました。その他は無酸素脳症2名、進行性核上麻痺1名と頭部外傷による認知症1名でありました。

整形、脳血管と廃用疾患33例のうち最も多い背景疾患はADでありました。特に整形外科疾患群では14名中13名がADに罹患していると診断されました。脳血管性認知症(VD)は4例のみで脳血管群のみに認められました。また、いわゆるADとVDの合併と考えられる混合型認知症(MIX)症例は9名(脳血管障害群5名、整形外科疾患群1名と廃用群3名)でありました。従いましてADは整形外科疾患群の14名中の全員、脳血管障害群の14名中10名と廃用群5名中4名

であり、合計すると認知症と診断された37名中の28名(76%)はADということになります。一方、VDはMIXも加えて算出すると、13名ということになります。

その他、廃用群の中にレビー小体型認知症(DLB)に罹患した方が1名認められ、MCIと診断された方は7名で整形疾患群のみに認められました。この7名はADの前状態である可能性が高いという判断をいたしました。

以前の明生リハビリテーション病院のデータでは入院患者さんの約65%が認知症あるいは認知症前状態という解析結果でありました。今回はこのような解析は行っていませんが、ランダムに抽出した認知機能低下入院患者の背景疾患の大部分がADであることがわかりました。また、整形外科疾患群にかなり多くの認知症患者が認められ、その多くがADやMCIであることがわかりました。

ADは進行性の疾患です。回復期リハビリテーション病院への入院によって周辺症状の改善は十分望めます。ただし退院後に介入時間が少なくなれば中核症状の進行性悪化は予防できにくくなるかもしれません。退院後の生活を考えるうえで今回の調査結果を参考に、患者・家族指導を行っていくことをお勧めいたします。

この調査を受けて、2月から「物忘れ外来」を赤羽リハビリテーション病院でもスタートします。地域の認知症対策にも貢献できるよう微力ながら努力いたしますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

表 疾患群別認知症背景疾患とMCI数

疾患群	n	AD	MIX	VD	DLB	MCI
脳血管	14	5	5	4	0	0
整形	21	13	1	0	0	7
廃用	5	1	3	0	1	0
その他	4	0	0	0	0	0
計	44	19	9	4	1	7

n: 症例数
AD: アルツハイマー病 DLB: レビー小体型認知症
VD: 脳血管性認知症 MCI: 軽度認知障害
MIX: 混合型認知症 (すべてAD+VD)

巨樹の会グループ(14病院)最大の許可病床数297床!! 原宿リハビリテーション病院

オープニング スタッフ募集

★正看護師(准看護師)

※正看護師(准看護師)としてご入職された方に
お祝い金300,000円(税込)プレゼント!(規定有)

医師・薬剤師・社会福祉士・看護助手 同時募集!



一般社団法人
巨樹の会
**原宿
リハビリ
テーション
病院**

お問い合わせ先

原宿リハビリテーション病院開設準備室
東京都渋谷区神宮前6-26-1

(平成27年4月1日開設予定)

<http://www.harajuku-reha.com>

E-mail furuno@shimoreha.jp

電話 03-3486-8333(直通) 採用担当者 古野 尚

原宿リハビリテーション病院

検索

ホームページのご案内

病院の詳細な内容は、ホームページでご覧いただけます。ぜひご参照くださいませ。
グループ病院ホームページにもリンクできます。

千葉みなとリハビリテーション病院

検索

<http://minato-reha.com/>



千葉みなとリハビリテーション病院 広報誌

海 UMKAZE 風 Vol.03

平成26年11月発行

企画
発行所

千葉みなとリハビリテーション病院
広報委員会

千葉県千葉市中央区中央港1丁目17番18号

TEL: 043-245-1555 / FAX: 043-245-1558



電 車 千葉みなと駅(JR京葉線・千葉都市モノレール)より徒歩10分

NEW
バ ス 千葉駅西口・千葉ポートタワー行26番のりば「千葉みなとリハビリ病院下車」